

10. 胃がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の実施件数

定義

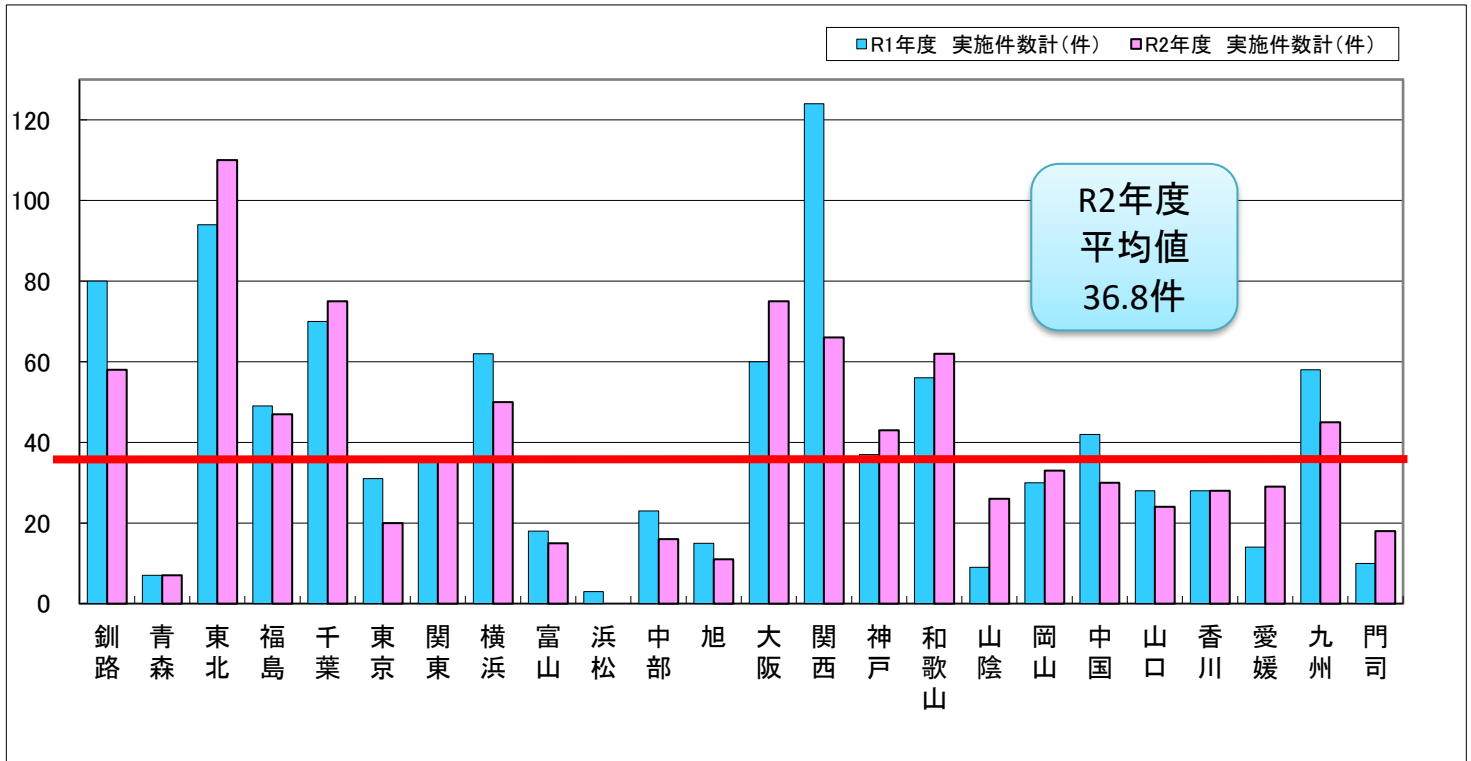
胃がん患者に対し、ESD（K653 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 2 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）を実施した件数

指標の解説

施設調査より抽出

ESDの有用性としては、開腹手術と比較し、入院期間の短縮、術後の疼痛軽減等が挙げられており、当該手術の実施件数により患者の負担軽減、社会復帰への貢献度を評価する。

10. 胃がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の実施件数



No	施設名	R1年度			R2年度		
		外来	入院	実施件数計(件)	外来	入院	実施件数計(件)
1	釧路	0	80	80	0	58	58
2	青森	0	7	7	0	7	7
3	東北	0	94	94	0	110	110
4	福島	0	49	49	0	47	47
5	千葉	2	68	70	0	75	75
6	東京	0	31	31	0	20	20
7	関東	0	36	36	0	36	36
8	横浜	0	62	62	0	50	50
9	富山	0	18	18	0	15	15
10	浜松	0	3	3	0	0	0
11	中部	0	23	23	0	16	16
12	旭	0	15	15	0	11	11
13	大阪	0	60	60	0	75	75
14	関西	0	124	124	0	66	66
15	神戸	0	37	37	0	43	43
16	和歌山	0	56	56	1	61	62
17	山陰	0	9	9	4	22	26
18	岡山	0	30	30	0	33	33
19	中国	0	42	42	0	30	30
20	山口	0	28	28	0	24	24
21	香川	0	28	28	0	28	28
22	愛媛	0	14	14	0	29	29
23	九州	0	58	58	0	45	45
24	門司	0	10	10	0	18	18
25	長崎	2	9	11	0	17	17
26	熊本	0	21	21	0	16	16
合計		4	1,012	1,016	5	952	957
平均	500床以上	0.0	66.5	66.5	0.0	58.8	58.8
	400床以上	0.0	43.3	43.3	0.0	32.8	32.8
	300床以上	0.4	32.1	32.6	0.6	35.8	36.3
	300床未満	0.0	10.7	10.7	0.0	13.3	13.3

※専門医不在の施設については除外した。